

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域と行政の協働で移動手段確保により地域づくりの活動支援事業
対象地域	鳥取県日野郡日南町
活動概要	<p>本町の面積は340.87平方キロで、高齢化率は44.3%と鳥取県で最も高い。そのうち75歳以上の後期高齢者も26.7%を占める。高齢者数になると、H15年をピークに減少に転じており、将来の日本の姿が見える。かつての基幹産業であった農林業の衰退と公共事業の減少のため、町内の雇用状況も厳しいことから、町内の人口もS25年頃のピーク時に比べ約1/3まで減少しH19年現在は6,107人となった。よって、地域の商店やJAの撤退がつづき、自家用車など交通手段を持たない高齢者を中心として、買い物を含めた日常生活にも支障をきたしている。</p> <p>町内には町営バスが6路線運行しているが、主な利用は朝と夕の町に1校だけの中学校の通学バスとしての利用である。よって、昼間の利用が少なく運行便数も少なくなっている。また、中山間地であることから、主要な道路から外れると整備の遅れた狭小な道路も多く、バス路線から自宅まで遠い部落も多く点在している。</p> <p>地域で用事を済ませることができないことから、外出も少なくなり、地域のコミュニティも低下し昔ながらの結びつきや見守り機能も失われつつある。そこで、地域による交通体系を確立し、地域での交流と生活手段の確保を目指す。</p>
今年度の主な取組	<p>H18年度にできた地域の「まちづくり協議会」が中心となったNPOや、町内の社会福祉法人などの事業者によるデマンドバスの有償運行実験を行うことにより、地域における接続可能な交通システム確立の検討を行う。</p> <p>① 地域における交通手段について、住民アンケート等の実施により住民ニーズ等の把握を行う。</p> <p>② 小型ワゴン車によるデマンドバス運行の実験を実施する。</p> <p>③ 以上①、②の結果を踏まえ、デマンドバス運行の方向性について、町営バスとの役割り分担も含め検討する。</p>
活動結果	<p>小型ワゴン車によるデマンドバス運行の実験が、有償運送を担う予定であったNPO法人の設立が遅れる等により運行をするための体制が整わず、実施できなかった。その代替え措置として、地域のボランティアによる無償運行によるデマンドバスの運行実験を行い、住民アンケートを実施してニーズの把握を行った。</p> <p>その結果、平成21年4月より地域が立ち上げたNPO法人による過疎地有償運行が開始されることとなり、また町営バスも新たなサービスとして予約により小型車両を使用して、交通空白地域をカバーするデマンド運行を開始することになった。</p>
当初予想していなかった効果	特になし。

実施状況(写真)	 <p data-bbox="635 533 1222 573">【写真】 無償デマンドバスの実験運行</p>
応募団体名	日南町自治協議会
リンク	
部局／担当者名	日南町 企画課 浅田雅史
連絡先	0859-82-1115
推薦市町村名	日南町